

平成25年度の主な事業を、第4次那覇市総合計画で掲げた6つの都市像に沿ってご説明します。

主要事業 ① 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市

まちづくりの主役は市民です。多様な価値観や社会環境の中、緩やかでいて、ときには団結し、力をあわせて理想を実現していくような、市民の間の心地よいつながりで、自治・協働の平和都市を創造していきます。

協働によるまちづくり

【まちづくり協働推進課】

● まちづくり拠点施設(仮称)施設整備事業 4億8,200万円

協働によるまちづくりを一層推進し、取り組みを活性化するため、旧銘苅庁舎を活用し、市民協働の拠点となる施設及び産業振興に資する施設の整備を目指して取り組みます。

● 協働大使活動支援センター管理運営費 882万円

那覇市協働大使をはじめとする、市民活動団体の交流、情報交換及び活動の拠点として「協働大使活動支援センター」を管理運営し、協働によるまちづくりを推進します。

● 小学校区コミュニティモデル事業

377万円

小学校区を範囲とし、地域で活動する団体が緩やかに連携する新たな地域コミュニティの仕組みづくりに向けて、モデル事業を4地区で引き続き実施します。

● なは市民協働大学

88万円

市民の皆様へ協働によるまちづくりについて理解を深めていただくとともに、地域課題解決に向けた人材育成のための講座を実施します。

幸せ感のあるまちの創出

【平和交流・男女参画課】

● 「思春期の心と体」のための意識啓発事業 167万円

市立中学校生とその保護者、教職員を対象に行なわれる「思春期の心と体」のための意識啓発事業として、思春期におけるいじめ、性暴力、若年者同士のDVである「デートDV」等の問題や危険について考え、予防・解決へのヒントの提供を行います。

【市民生活安全課】

● 相談事業

417万円

行政に対する要望や陳情等の適切な処理を行い、また、法律・登記・税金・悩みごと相談等の各種相談コーナーを開設し、市民生活の不安の解消や問題の解決に寄与するとともに、相談事業の円滑な運営を図ります。

平和交流・男女共同参画

【平和交流・男女参画課】

● 伯亜移民105周年およびSV市姉妹都市提携35周年記念事業 345万円

南米で活躍する多くの県人と交流を深めるため、ブラジル・アルゼンチンへの県人移民105周年記念式典及び那覇市・サンピセンテ市姉妹都市締結35周年記念式典に参加し、一層の相互理解と友好発展を図ります。

● 那覇軍港跡地利用計画事業

508万円

那覇軍港地権者合意形成活動全体計画」に基づき、地権者等関係者との合意形成活動のための基礎的体制づくりとして、課題研究及び地主会等への勉強会、情報誌による情報提供を行い、地権者等の意向醸成活動を推進します。

市民に開かれた効率的な行政

【議会議務局議事調査課】

● 市議会映像配信事業 63万円

インターネットシステムによる市議会定例会、臨時会の生中継及び録画中継を行い、市民の傍聴する機会の拡大を図ります。

【市民課】

● 戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業 1億4,595万円

戦災により滅失した戸籍を再製するために作成された沖縄関係戸籍を電算化することにより住民の個人情報資産である沖縄関係戸籍の保存性を高め、震災にも耐えうる管理運用を実施し、住民からの申請があった場合に速やかに情報開示する体制を整備します。

● 窓口業務外部委託事業

1億657万円

市民課窓口業務の一部を民間委託し、民間の有する多様な専門性と柔軟性・ノウハウを活かし、質の高い市民サービスの提供を図ります。

【行政経営課】

● 包括外部監査契約 1,023万円

中核市に対して、実施が義務付けられている包括外部監査契約により「住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げる」とこと、「組織及び運営の合理化に努めるとともに、規模の最適化を図る」ことを目的に、包括外部監査を実施します。

【企画調整課】

● ファシリティマネジメント等推進事業 57万円

市有財産に係る経費の最小化や効用の最大化を図ることを目的に、その管理手法(マネジメント手法)の確立と推進計画の策定に向けて取り組みます。

主要事業 ②

地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市

市民の誰もが社会的な役割と生きがいをもって、お互いに支えあい、充実した暮らしを実現することのできる健康都市をめざします。

健康づくりと地域医療の充実

【健康増進課】

●子宮頸がんワクチン接種助成事業

7,188万円

女性の子宮頸がんへの罹患を防ぐため、本市に住所を有する、中学1年生～高校1年生の女子に対し子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成を行います。

●ヒブワクチン接種助成事業

1億764万円

乳幼児の細菌性髄膜炎の予防のため、那覇市に住民登録のある、2ヵ月齢以上5歳未満の乳幼児に対し、ヒブワクチンの予防接種費用の全額助成を行います。

●小児用肺炎球菌ワクチン接種助成事業

1億6,142万円

乳幼児の肺炎球菌感染症の予防のため、那覇市に住民登録のある、2ヵ月齢以上5歳未満の乳幼児に対し、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の全額助成を行います。

●高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業

981万円

肺炎の主原因のひとつである肺炎球菌による感染を予防するため、75歳以上の高齢者に肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成を行います。

●「健康なは21」推進整備事業

309万円

生涯を通じた健康づくりを支援するために、働き盛り世代の課題である生活習慣病、メンタルヘルス、受動喫煙防止対策等の課題を関係機関が共有し、連携して対策に取り組めます。

●生活習慣病重点対策事業

541万円

糖尿病予防戦略事業、たばこ対策促進事業、慢性腎臓病予防啓発事業を実施して、生活習慣病対策を強化します。

●女性特有のがん検診推進事業

3,423万円

20～60歳の女性のうち特定の年齢の方に、乳がん、子宮がん受診の無料クーポン券を送付することにより、受診率の向上を図ります。

●病院事業運営費負担金

5億478万円

地方独立行政法人那覇市立病院における不採算事業や経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費を、設立団体である市が運営費負担金として負担します。

【地域保健課】

●妊婦健康診査事業

3億2,205万円

全妊婦を対象に健康診査及び保健指導を実施し、母体や胎児の健康確保を図ります。

【特定健診課】

●特定健康診査等事業

2億2,751万円

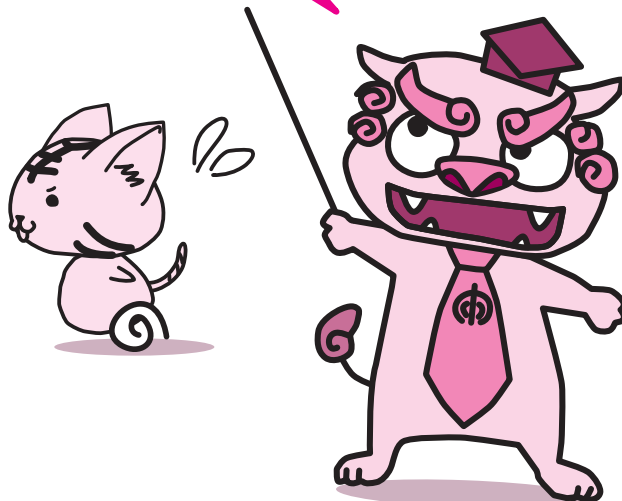
40～74歳の国保被保険者を対象とした「特定健康診査及び特定保健指導」を実施します。平成25年度は特定健診受診率41%、特定保健指導実施率40%を目指します。

●特定健診受診率向上特別対策事業

2,726万円

平成25年度特定健診受診率の目標の達成に向け、様々な方法で受診を勧奨し、受診率の向上を図ります。

日頃の
運動不足にも
気をつけましょう



ユニバーサルデザインのまちづくり

【障がい福祉課】

● パーキングパーミット交付事業 65万円

身体障害者用の駐車スペースの適正な利用を促進するため、利用対象となる障がいのある方に利用認定証を交付し、車に掲示してもらうことによって、当該駐車場を利用できる者であることを明らかにしながら、本来必要としている障がいのある方の駐車スペースの確保を図ります。

【地域保健課】

● 地域生活支援事業(社会参加) 87万円

障がいがあっても、地域で暮らし地域の一員として生活が出来る地域づくりを目的に、精神保健福祉サービスを提供するための技術向上のための研修、地域への精神保健福祉の普及啓発のための講演会等の実施、精神保健福祉関係機関のネットワークの構築を行います。

ともに生きる心を育てる

【福祉政策課】

● 那覇市福祉の街づくり推進事業 241万円

「すべての人にやさしいサービス(心のバリアフリー)」を広めるため、次世代を担う子どもや市民、企業を対象にサービス介助セミナーを継続して開催します。また、福祉のまちづくり推進員と協働して、市民や事業者に対し、バリアフリーの現状や対策の情報提供、心のバリアフリーの啓発などを行います。

● 法人後見推進事業 405万円

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分または欠けているため、成年後見制度が必要な市民が、個人による後見では対応が困難であると思われる場合において、社会福祉協議会が法人組織としての後見を実施します。

地域の支えあい

【保護管理課】

● 生活保護世帯日常金銭管理支援事業 941万円

被保護世帯のうち、日常生活における金銭管理等に不安がある世帯に対しその支援を行うことで、安心して自立した生活が送れるよう支援します。

● ホームレス支援推進事業 1,170万円

ホームレス巡回指導員を配置し市内のホームレスを把握すると同時に、生活医療等の相談をとおして社会的自立を支援します。

自立を支援するサービス提供

【障がい福祉課】

● 障がい者就労支援事業 966万円

就労を希望する障がい者の就職支援及び就労している障がい者の安定的かつ継続的な職場定着支援を図るジョブサポーターを派遣し、障がい者の就職支援と就職後の職場定着を図ります。

● 居住サポート事業 227万円

障がい者が地域で自立した生活を営むことができるよう、アパート等の住居探しの支援や生活体験のサービスを提供します。

● 発達障がい者地域生活支援・相談員配置事業 3,323万円

専門的職員を配置し、発達障がい者本人または、発達障がい者の家族及び関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供、権利擁護のための援助を行い、発達障がい者本人が自立した日常・社会生活が営むことができるよう、継続的な支援を行います。

【障がい福祉課】

● 障害者虐待防止対策支援事業 164万円

障がい者に対する虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応と適切な支援を行います。

【ちゃーがんじゅう課】

● 高齢者公共交通割引制度 407万円

那覇市在住の70歳以上の高齢者に外出の機会や積極的な社会参加を促すため、土・日・祝祭日(慰霊の日を含む。敬老の日除く。)にモノレール各駅窓口で販売されている「がんじゅう一日乗車券」の補助を行います。

【保護管理課】

● 住宅手当緊急特別措置事業 8,852万円

就労意欲はあるものの、解雇、離職等によって住居を喪失、あるいは喪失するおそれのある市民に対して、住宅手当を給付し、生活の建て直しを支援します。

地球温暖化がもたらす異常気象は人類への警鐘です。すべての市民が日常生活の中でも地球環境への影響を考え、行動する、人・自然・地球にやさしい環境共生都市をめざします。

地球環境への配慮

【環境政策課】

● 住宅用太陽光発電システム導入促進助成事業 700万円

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減及び環境保護についての意識啓発を図ることを目的として、市内の自らが居住する住宅に、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対して補助を行います。

● 緑のカーテン・屋上・壁面緑化推進事業 1,076万円

緑のカーテン推進事業は、自治会や認可・認可外保育園等を対象にモデル施設を選定し、つる性植物の育成に必要な資材提供を行います。屋上・壁面緑化推進事業は、市内の建築物を対象に申請に基づき屋上・壁面緑化工事費の一部を助成します。

● モノレール沿線ベランダ緑化支援事業 374万円

前年度に実施した「モノレール沿線ベランダ緑化促進事業」のフォローアップ事業として位置づけ、同事業によりベランダ等に設置された植栽プランターを良好な状態に維持させ、「まとまった・見える建築物緑化」を形成することで、花と潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創成及び地球温暖化対策を目的に実施します。

● 温暖化対策啓発事業 404万円

省エネエコライフについて啓発講座を開催し、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

資源循環型社会

【クリーン推進課】

● スポーツ広場整備事業 1,206万円

昨年、旧最終処分場跡地にオープンした「ちゅらティーダスポーツ広場」の付帯施設整備に取り組みます。

【環境保全課】

● 水資源有効利用推進事業 120万円

水資源の有効利用及び地下水かん養のため、市内の住宅で雨水・井戸水利用設備の設置者に建設補助金を交付します。

自然環境の保全・再生・創造

【環境保全課】

● 市内湧水水質調査業務 763万円

水質の現況を把握し渇水時や災害時に生活用水として活用するための基礎資料を得ることを目的に、市内の主な湧水の水質調査を実施します。

衛生的な環境の確保

【環境保全課】

● 公営墓地施設整備事業 7,045万円

人口増加や世帯分化の影響により個人墓が急増し、墓地と住宅地が混在する市街地が形成され様々な問題が生じています。これらの諸問題を踏まえ策定した「那覇市墓地等に関する基本方針」を基に、狭隘な市域において、本市の実情にそった墓地（納骨堂）の提供を行うために、納骨壇、合葬室を併せ持つ新たな形態の公営墓地である「那覇市民共同墓（仮称）」の建設を行います。

【環境衛生課】

● 犬猫適正飼養推進事業 1,432万円

愛がん動物の飼い主に「終生飼養」及び「繁殖制限」を基本とした適正飼養の普及啓発を行い、人と動物が共生できる快適な生活環境の構築を図ります。また、狂犬病予防法及び那覇市飼い犬条例に基づき、狂犬病予防注射接種の啓発及び登録事務を行い、さらに、飼い主に対する適正飼養の指導、所有者不明犬猫の引取り及び徘徊犬の捕獲等を行います。

主要事業 ④ 子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市

未来の担い手である子どもたちが将来への夢を育て、その笑顔が町中にあふれ、市民が多様な価値観を認めあいながら、伝統的な文化を次代へ継承し、新たな文化を生みだしていくことのできる、ゆたかな文化都市を創ります。

生涯学習と地域の教育力の向上

【平和交流・男女参画課】

● 陸上競技場兼サッカー場整備実施計画調査 1,259万円

奥武山公園内に陸上競技場兼サッカー場整備を進めていくうえで、計画条件の整理や基本方針など、必要要件についての整備実施計画調査を行い、平成26年度以降の工事について、概算工事費を積算します。

【教育委員会 中央公民館】

● プラネタリウム番組開発等事業 1,811万円

牧志駅前ほしぞら公民館にあるプラネタリウムの番組を作製します。

【教育委員会 市民スポーツ課】

● 体育施設維持補修工事 470万円

那覇市体育施設(那覇市民体育館、漫湖公園市民庭球場、首里石嶺プール)の維持補修工事を施し、市民が快適な環境で施設を利用できるようにします。

● 児童のスポーツ県外派遣補助金 875万円

児童のスポーツ活動を支援して、競技力の向上とスポーツの普及発展を図ります。

子育て支援と就学前教育・保育

【こども政策課】

● 法人保育所新規等建設補助金 4億7,398万円

待機児童の解消を図るため、認可外保育施設の認可化に伴う施設整備や認可園の増改築等に対して補助を行います。

● 幼稚園園舎建設事業 7億6,399万円

老朽化した園舎の改築を行います。

- ・泊幼稚園園舎建設事業(平成25年度完成予定)
- ・真嘉比幼稚園園舎建設事業(平成25年度完成予定)
- ・前島・久茂地小学校統合新校整備事業(幼稚園)(平成25年度完成予定)
- ・与儀幼稚園園舎建設事業(平成26年度完成予定)
- ・大名幼稚園園舎建設事業(平成26年度完成予定)
- ・開南幼稚園園舎建設事業(平成26年度完成予定)
- ・城西幼稚園園舎建設事業(平成27年度完成予定)

● 幼稚園冷房機設置事業 2,279万円

年中を通して暑い沖縄において、幼稚園児が快適な保育環境の中で健やかに活動ができるよう保育室に冷房機を設置します。

● 幼稚園施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) 3,365万円

園舎外壁全面塗装を行い、幼稚園園舎の長寿命化を図ります。

【こどもみらい課】

● 私立保育園運営費負担金 67億3,781万円

市内の認可保育園の運営費を負担して、家庭で保育が困難な方のための社会的保育機能の確保を図ります。

● 認可外保育施設の環境整備事業 5,129万円

市内の認可外保育施設へ施設改修費を補助します。また、那覇市内の業者に発注することを補助の条件とし、市内業者の活性化を図ります。

● 待機児童対策特別事業(認可外) 1億2,902万円

認可外保育施設の保育の質の向上及び入所している児童の処遇向上に資することを目的に、児童の健康診断費の助成、牛乳代、米代、おかず及びおやつ代の助成等を行います。

● 伝統文化継承種まき事業 220万円

市立保育所に入所している2歳以上の児童に地域の伝統文化に親しむ機会をつくり体験してもらいます。



子どもの視点に立った環境づくり

【教育委員会 施設課】

●小・中学校校舎建設事業 2億8,097万円

老朽化した校舎の改築を行います。

- ・大名小学校(平成26年度完成予定)
- ・寄宮中学校(平成26年度完成予定)
- ・神原中学校(平成27年度完成予定)
- ・上岡小学校(平成28年度完成予定)

●小・中学校屋内運動場建設事業 6億6,675万円

老朽化した屋内運動場(体育館)の改築を行います。

- ・泊小学校(平成25年度完成予定)
- ・城西小学校(平成27年度完成予定)
- ・真和志中学校(平成26年度完成予定)
- ・鏡原中学校(平成28年度完成予定)

●前島・久茂地小学校統合新校整備事業 1億8,320万円

平成26年4月に前島小学校と久茂地小学校が統合されるのに伴い、現前島小学校の校舎等その他周辺環境を整備するための事業です。(平成26年度完成予定)

●前島・久茂地小統合新校校舎増築及びプール改築等事業 3,799万円

前島小学校と久茂地小学校を統合することにより平成26年度に開校される統合新校について、校舎の増築、水泳プールの改築、地域・学校連携施設の新設等を行います。(平成26年度完成予定)

●安岡中学校校舎増築事業 1,750万円

教室不足を解消するため、校舎の増築工事を実施します。

●小・中学校施設環境整備事業(冷房設置) 1億5,813万円

亜熱帯地方である沖縄においては、高温多湿な状況が長期間続き、児童生徒の学習環境を改善する必要があるため、小・中学校の普通教室に冷房設備の設置を行います。

●校舎等剥離補修業務事業(小・中学校) 2億135万円

小・中学校施設において、梁や柱など主要構造部分のコンクリートの剥離防止や断面欠損の補修を行います。

●小・中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) 2億376万円

塩害等の影響による老朽化を抑制し、建築物の長寿命化を図るため、校舎等の外壁の全面塗装工事を行います。

【教育委員会 学校給食課】

●小学校給食調理場改築事業 3,322万円

校舎改築事業に伴い単独調理場も同時に小規模共同調理場として改築し整備を図ります。

- ・大名小学校(平成26年度完成予定)
- ・上岡小学校(平成29年度完成予定)
- ・鏡原中学校(平成31年度完成予定)

【こども政策課】

●児童クラブ整備事業 8,752万円

児童クラブ舎の建築・整備を行います。

- ・真嘉比小区児童クラブ(平成25年度完成予定)
- ・与儀児童クラブ(平成26年度完成予定)
- ・前島小学校・久茂地小学校統合新校児童クラブ(平成26年度完成予定)
- ・大名児童クラブ(平成26年度完成予定)

●児童クラブ運営補助金 2億4,312万円

児童クラブ運営費の一部を補助します。

●児童クラブ賃借料補助金 1,490万円

児童クラブ運営費の一部を補助します。

【教育委員会 学校教育課】

●児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣) 1,500万円

運動競技・文化的活動(合唱・吹奏楽等)で県代表として県外に派遣される児童・生徒に補助金を交付します。

●那覇市小中一貫教育校推進事業 673万円

学力向上、豊かな人間性や社会性の育成、中学校入学時の不安解消を図る目的から、本市においても小中一貫教育校を平成24年度から導入します。平成25年度は、モデル校として神原中校区小中一貫教育校(神原中・神原小・壺屋小)で、昨年度に引き続き、モデル事業を実施します。

【教育委員会 青少年育成課】

●放課後子ども教室推進事業 965万円

放課後に学校施設等を活用し、こども達に伝統文化・芸能、スポーツ、学習など多様な活動を提供します。

●青少年旗頭事業 387万円

市内全小中学校を対象に、旗頭材料費、補修、演舞指導等を行い、旗頭活動により子どもたちの「居場所作り」「出番作り」を図ります。

●はたちの記念事業 126万円

市内全中学校区にて地域住民による自主開催が行われており、各成人式準備委員会等について、広報、施設使用、運営資金の援助等を行います。

●重点分野雇用創出事業(若者支援ナビゲート事業) 1,249万円

ニート化しやすく社会とのつながりが薄くなりがちな若者の現状、要望等を把握し、関係機関にナビゲート(助言指導等)を行うことで、若者の社会参画活動への支援を行い、絆のある社会づくりに貢献します。

【教育委員会 学校教育課】

●基礎学力向上のための学習支援事業 3,807万円

文部科学省の全国学力・学習状況調査の結果、沖縄県の「確かな学力」の向上が課題であることから、教職経験者等の学習支援員を全小学校に派遣し、学習支援を実施することにより、基礎学力の定着と向上を図ります。

●離島体験学習支援事業 398万円

離島での課外活動への旅費を補助することにより、離島環境での集団宿泊生活、自然体験等を通じて、人材育成と離島の振興を図ります。

【教育委員会 学務課】

●前島・久茂地小学校統合新校備品整備事業 1,056万円

前島小学校と久茂地小学校が統合されることにより、新校への備品の移動・廃棄・管理換えを行い、併せて学校図書館のシステム移行及びカーテン等の整備を行います。



文化の継承と発展

【文化振興課】

●文化芸術発信事業(パレット) 1,174万円

地理的要因で著名な音楽家や劇団等の鑑賞機会の少ない市民県民に舞台芸術の鑑賞を提供し、文化芸術活動の振興に寄与します。

●創作エイサー発信事業 210万円

沖縄の伝統芸能エイサーを基とした創作エイサー団体による太鼓演舞の競演を通して、市民文化の創造と振興、伝統文化の保存と継承を図るとともに、那覇市内の団体を中心とした「創作エイサーコンテスト」を開催します。

●伝統芸能公演事業 1,246万円

「うちなーぐち」で演じられる「組踊」や「沖縄芝居」を各1回公演し、これらの伝統芸能公演をとおして市民に「うちなーぐち」を再認識させ、さらに若い世代への継承・発展を図ります。

●新文化芸術発信拠点施設整備事業 1,339万円

新市民会館建設に向け、管理運営計画を含めた基本計画の策定に着手します。



【文化財課】

●「昭和のなは」復元模型製作事業 1,695万円

1944年の10・10空襲や沖縄戦等により、那覇市は赤瓦の屋根に象徴される街並みなど戦前の情緒ある姿をすべて失いました。王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、復元模型を作製し観光都市としての魅力を高めます。

●展示資料「那覇の屏風」複製製作事業 686万円

歴史的な展示資料「那覇」を描いた屏風の複製を作成し、市民県民、観光客等に那覇の歴史・文化・美しさをよりわかりやすく身近に感じていただきます。

●那覇市旧跡・歴史的地名標示事業 750万円

琉球王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、その場所場所に説明表示板を設置し、その旧跡・歴史地名標示の内容を盛り込んだガイドブックを作製します。

●崎山樋川修復事業 1,382万円

指定文化財(史跡)の崎山樋川は歴史散歩の道「ヒジ川ピラマ－い」に入っており、スーゾグワー観光のポイントとして活用するため、石積を改修し保存を図ります。

●銘苅墓跡群環境整備事業 458万円

銘苅墓跡群は平成19年7月26日付で国指定史跡となりました。一般公開に向けて史跡の保存処理や環境整備を行う必要があるため、平成25年度は環境整備の具体的方法等について、専門家による検討委員会を開催します。

●伊江殿内庭園保存整備事業 609万円

国指定名勝「伊江殿内庭園」は国王や冊封使の接待・交流の場として使用された歴史的庭園です。岩山を利用して築造された庭、水槽からカスケード式に大小の池に流れる水、岩面に文字を陽刻した庭石等の保存を図り、今後の公開・活用に向けた整備を行います。

わが国の国際的な南の玄関口として、広域的な交流・交易の拠点機能を高め、多彩な人材と多様な産業を生み出すとともに、地場産業の振興を図り、人も、まちも活力ある美しい島々の拠点、観光交流都市をめざします。

産業の振興

【商工農水課】

● 那覇市伝統工芸ブランド確立事業 3,191万円

那覇市の伝統工芸品を観光資源として活用するため、その品質・伝統・個性等を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、世界水準のリゾート地の形成を目指し、経済の振興に寄与します。

● クルーズ客船ターミナル等における伝統工芸PR事業 2,500万円

那覇市の伝統工芸品の品質・伝統・個性等を、来沖する外国人観光客にPRし認知度を高め販路を拡大する事を目的に、若狭バース等の工芸品展示スペースに那覇市の伝統工芸品を展示します。

● 企業誘致促進優良オフィス認定広報事業 210万円

那覇市で事業展開を検討している県外等の企業に対し、最新で信頼でき詳細な賃貸事務所等情報を提供し、企業の誘致を促進します。

● 離島支援連携事業 4,525万円

泊港と船舶航路で結ばれた那覇市と離島5町村(座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・久米島町)の新たな地域連携事業として、那覇市民の住民福祉の向上に寄与しつつ5離島を振興支援する事業を実施します。那覇市民が海上交通を利用して離島5町村に渡り、観光、村民との交流、豊かな海や自然とふれあう自然学習等に要する渡航費の「海上交通費」「宿泊費」を公費助成します。

● 中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業 3,385万円

市内の中小企業者の新規開発した商品・サービスを県外・海外に販路拡大する経費の一部を助成し、市内の事業者が、県外・海外にて商品・サービスを販売することにより、利益と雇用の増を支援します。

【商工農水課】

● 市魚マグロ等水産物流通支援事業 1,000万円

沖縄県は全国有数のマグロの産地であり、その中で本市は約半数の漁獲量を誇っているが、知名度は高くない状況です。平成22年度に市の魚「マグロ」を制定し周知活動を行っているが、さらに強く周知活動を行い、水産都市那覇のイメージアップに繋げていきます。

● ワッター野菜がジョートーサー事業 384万円

戦争により失われた伝統野菜である鏡水大根の復活及び普及活動を促進し、生産を復活させ量販店や市場への出荷を促進し、伝統野菜としての認知度向上を図ります。また、ハーブやチンゲン菜等の地元農家が生産した野菜を使った料理講習会を開催し、伝統野菜や地元野菜の地産地消を推進します。

【観光課】

● プロ野球キャンプ等支援事業 1億1,284万円

プロ野球春季キャンプのためのトレーニング室及び倉庫を建設し、陸上競技場や補助競技場等を整備します。また、東京ドームで「めんそ〜れ沖縄・那覇デー」を開催し、観光誘客を推進します。

● プロ野球キャンプにぎわい創出事業 1,504万円

春季キャンプ来場者に安全に楽しく過ごせる環境を提供することで、来場者の増加及び満足度を向上させ、来場者のリピーター化を促し、観光誘客を図ります。

● 那覇市内観光周遊バス実証実験事業 1億6,800万円

那覇市を訪れる観光客が、市内観光地を効率的に回れるよう那覇市観光協会の「那覇まちま〜い」事業と連携してオリジナルラッピングを施した観光周遊バスの実証実験運行を行います。

● 新たな観光案内所整備事業 6,130万円

観光案内所を国外からの観光客へ対応可能な観光案内所として整備し、観光振興を図ります。

● 音楽活用ナイトエンターテインメント創造事業 2,061万円

米軍占領下時代に、アメリカや日本のカルチャーとの融合により発展を遂げた独自の音楽文化を活用し、那覇観光のナイトメニューの多様化やまちなかの賑わいを創出し、また、音楽を通して那覇の新しい魅力を発信します。



まちの活性化

【なはまちなか振興課】

● 国際通り情報発信大型ビジョン活用事業 **3,304万円**

本市最大の観光地である国際通りと周辺商店街の継続的な発展と、観光客に優しい観光地づくりを促進するため、国際通りに面するてんぷす前広場に大型ビジョンを整備し、情報発信の強化と中心市街地の回遊性向上に取り組みます。

● 国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」 **3,016万円**

那覇市内を訪れる入域観光客の利便性の向上及び街の魅力の向上等を図るため、国際通り及び市内の主要な観光スポットに、公衆無線LAN環境を整備し、情報発信の強化と中心市街地への滞留時間や回遊性の向上へ向けた取り組みをモデル的に実施します。

● 牧志駅前交通広場等にぎわい事業 **2,723万円**

国際通り及び周辺通り会への集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、さいおんスクエアビル前の広場を拠点に月に土・日4日程度の集客力のあるイベントを開催します。

● 国際通りとマチグワ-のにぎわい事業 **4,586万円**

国際通り及び周辺通りへの集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、平和通りの牧志公設市場衣料部2階にある「ひやみかちマチグワ-館」を拠点に、週5回程度の集客力のあるイベントを開催します。

● 震災等緊急雇用対応事業(ひやみかちマチグワ-館にぎわい事業) **1,873万円**

国際通り及び周辺通り会への集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、平和通りの牧志公設市場雑貨部2階にある「なは商人塾」及び衣料部2階にある「ひやみかちマチグワ-館」を拠点に、週4日程度の集客力のある市民講座等を開催します。

【市街地整備課】

● 農連市場相対売り継承調査事業 **405万円**

戦後から那覇市の中心市街地活性化に大きな役割を担い続けてきた地区の一つである農連市場地区で見られる「相対売り(マチグワ-独特の売買形式)」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態を継承し、商業の活性化を図るために必要な調査等の事業を推進します。



就労支援・相談体制

【商工農水課】

● 重点分野雇用創出事業(IT産業の多様なニーズに対応する人材育成事業) **2億1,825万円**

IT業界における雇用のミスマッチの解消や適材適職による継続雇用を目指します。

● なはし就職なんでも相談センター運営事業 **1,170万円**

求職者に対する就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行い、求職者を就職へ結びつけます。

【市民生活安全課】

● 消費者教育・啓発活性化事業 **458万円**

自立した消費者の育成及び消費者被害の未然防止のために市民講座を実施し、消費者教育の啓発と周知を図ります。

● 消費生活相談員等レベルアップ事業 **159万円**

消費生活相談業務の複雑化、多様化に対応するため、消費生活相談員等の資質向上を図るための研修支援を行います。

主要事業 ⑥ 安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市

都市基盤や都市景観が、亜熱帯特有の自然や歴史、文化環境に調和した緑ゆたかな庭園のようなまちを築いていきます。誰もが安心して、楽しく歩くことのできる、魅力的で愛着のあるまちを市民とともに創っていきます。

都市防災と防犯

【市民生活安全課】

● 保安灯設置等事業補助金 2,116万円

保安灯の設置及び維持を行う団体に対し、補助金を交付します。新設・修繕については1団体につき5灯以内とし、LED型は1灯5万円以内、その他は1灯3万円以内を補助します。また、保安灯の電気料を算定基礎とした団体活性化事業として、LED型は1灯月額140円、その他は1灯月額200円を補助します。

【建築指導課】

● 那覇市民間住宅耐震化促進事業 2,511万円

住宅の耐震化(耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事)を行う民間事業者に対し、費用負担を軽減するため補助金を交付し、耐震改修への意欲を高めます。また、補助金交付事業と併せて、耐震改修の必要性について啓発し、希薄と思われる地震への危機意識を推進します。

【教育委員会 施設課】

● 小・中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上) 4,876万円

海拔の低い地域にある学校施設において、津波発生時に緊急避難施設としての機能を持たせるため、学校校舎の屋上(3階以上)に手すりを設置し、緊急避難施設として整備を行います。

● 学校施設耐震化事業(小・中学校) 9,135万円

校舎等の構造耐震指標を把握するため、耐震診断を実施します。

【消防本部 総務課】

● 消防庁舎整備事業 3億 1,028万円

那覇市消防力整備計画(消防署所の適正配置計画編)にもとづき、那覇市樋川2丁目に消防庁舎用地を取得し、消防庁舎(仮称:樋川出張所)を建設します。

【消防本部 救急課】

● 救命講座普及啓発推進事業 774万円

応急手当講習体制の充実のため、普通救命講習、上級救命講習、応急手当普及員講習及び救命入門コースを開催します。

市街地の整備

【市街地整備課】

● 農連市場地区市街地再開発事業(防災街区整備事業) 2億 1,866万円

商活動の衰退や防災上の危険性の問題解決を図るため、衣食住遊が融合し、にぎわいと交流が生まれるマチグワー空間の再生を行います。

【区画整理課】

● 真嘉比古島第二土地区画整理事業 4,962万円

真嘉比・古島地域の土地区画整理事業の平成25年度完成に向けて、換地処分業務を行います。

● 那覇市戦災復興の歩み事業 600万円

真嘉比・古島地域の土地区画整理事業の平成25年度完成に向けて、那覇市の土地区画整理事業の歴史と概要等をまとめたパンフレットと真嘉比古島地区の記念誌を作成します。

【建設企画課】

「那覇市市営住宅ストック総合活用計画」にもとづき、老朽化の著しい市営住宅の建替えを行います。

● 久場川市営住宅建替事業 2億 8,671万円

● 石嶺市営住宅建替事業 8億 1,656万円

● 宇栄原市営住宅建替事業 15億 2,550万円

● 大名市営住宅建替事業 17億 9,462万円

【建築指導課】

● 狭あい道路整備事業 256万円

狭あい道路の拡幅整備を促進するため、舗装整備等への助成金等を交付し、安全で快適なまちづくりを推進します。

交通体系の整備

【道路建設課】

● 街路整備事業(公共投資交付金) 27億8,850万円

交通渋滞の緩和、交通安全の確保、交通アクセスの利便性、歩行空間のバリアフリー化等を図るため、都市計画道路(石嶺線外8路線)において、道路改良、用地買収及び物件補償等を行います。

● 沖縄都市モノレール延長事業 2億8,203万円

沖縄都市モノレールの延長事業において沖縄県へ業務委託し、都市計画道路石嶺線のモノレールインフラ部整備(設計業務、RC橋脚工事)を行います。

● 歴史散歩道整備事業 2億4,970万円

市民等が那覇の歴史に触れながら観光地等を快適に散策できるよう、道路(しんかぬちゃーまーい等)の美化・緑化等、歴史的景観に配慮した道路整備(設計業務、改良工事)を行います。

● 橋りょう長寿命化修繕事業 1億2,500万円

本市が管理する橋りょうについて、効率的・効果的な予防保全を図るため、「那覇市橋梁長寿命化計画」に基づき、老朽化の著しい橋りょう(松川高架橋外6箇所)を優先して修繕します。

【都市計画課】

● 総合公共交通の推進事業 1,765万円

モノレールと並ぶ公共交通の軸として那覇市交通基本計画に位置づける「モデル性の高い基幹的公共交通」の段階的導入に向けた実証実験とバス停上屋の整備を行い、公共交通の利便性向上と交通の円滑化を図ります。

● 戦略的交通まちづくり推進事業 1,350万円

車に頼り過ぎない暮らしを市民に社会啓発するイベント「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施と、市道泉崎7号に二輪車駐車を設置し効果を検証する実証実験を行い二輪車利用環境の向上を図ります。



自然と調和したまちなみ

【花とみどり課】

● 公園整備事業(沖縄振興公共投資交付金) 12億9,596万円

(社会資本整備総合交付金)

3億3,153万円

公園整備事業の促進を図ることにより、地域住民に良好な都市環境を提供します。久場川公園外19公園の都市公園整備を行います。

● 市花木等普及推進事業(公共空間への植樹) 2,000万円

公共空間の緑化により、自然を感じられるまちをつくるため、那覇市の市花木であるホウオウボク、フクギ、ブーゲンビリアの植栽を普及推進します。

● 桜の名所づくり事業 1,200万円

公園等を「桜の名所」として整備するため、桜の植樹等を行います。



【都市計画課】

● 景観まちづくり推進事業 2,089万円

首里大中町及び首里三箇(首里崎山町、首里赤田町、首里鳥堀町)において、景観形成(案)などの策定に向け、地域住民とのワークショップ等を開催します。また、那覇市全域における屋外広告物の適正化に向けた計画策定を行います。

【公園管理課】

● 亜熱帯庭園都市の公園美化事業 1億3,600万円

外国人を始めとする多様な観光客等を迎えるため、公園の公共空間において沖縄らしい魅力的な観光地づくりを行います。



最後の
資料編へ
進みます